

# 令和6年度 「全国学力・学習状況調査」結果の概要

令和6年12月10日

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

- ① 義務教育の機会均等とその水準の向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、その取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ③ 各学校が、各児童生徒の学力・学習状況を把握し、教育指導や学習の改善等に役立てる。

(2) 実施日 令和6年4月18日(木)

(3) 対象学年 小学校第6学年、中学校第3学年

### (4) 本市の実施状況

- ① 実施校 小学校 7校 中学校 4校
- ② 参加児童生徒数 児童 374人 生徒 333人

(5) 実施教科 国語、算数・数学

### (6) 調査内容

#### ①児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査 小学校；国語、算数 中学校；国語、数学

- (ア) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- (イ) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力

#### イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。  
小学校と中学校の調査項目はほぼ同じであるが違う質問や質問内容が昨年度から変更になったものもある。

主な調査項目は、以下のとおり

- 1 基本的な生活習慣等
- 2 ICTを活用した学習状況、情報リテラシー
- 3 健康面、自己肯定感、相手意識等
- 4 自己有用感、先生（大人）との関係性、友人関係等
- 5 家庭での生活、ICT機器の利用
- 6 授業の場面、課題解決等
- 7 総合的な学習の時間、学級活動、特別な教科 道徳
- 8 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）
- 9 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数 数学）
- 10 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科 英語）

11 今回の学調に関わること（国語、算数・数学）

※部活動について（中学校のみ）は削除になりました。

※外国のことを知ったり、外国人と友達になりたいか、また、日本のことをもっと外国の人に知ってもらいたいかな等の質問が削除されました。

②学校に対する調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施。

2 結果の概要

(1) 教科に関する調査結果の概要

本市の平均正答率は、対象学年の小学校6学年の国語・算数とも全国平均と比べると低いという結果でした。算数では、県平均と正答率が同じであり、全国と比較しても多少低いという状況でしたが、国語では3~4%ほど低いという状況でした。特に思考・判断・表現で差がありました。（※以下、全国平均は、公立小中学校）

中学校3学年の国語、数学ともに全国平均と比べると約6~7%低いという結果が出ました。小と同様に思考力・判断力・表現力（特に話す・聞く）で大きく下回っていました。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果（児童生徒に対する調査）の概要

質問紙調査は、小6、中3ともに41項目とプラス国語、算数の16項目（それぞれ8項目）、その他6項目（理科や英語）、今回の学調に関わる4項目（国語、算数；数学それぞれ2項目）で総計67項目の調査が行われました。

主な調査結果は、次のとおりとなっています。

※質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計の割合

（※ \ 線は、前回質問項目なし及び前回と集計が違う項目 ※下段は、全国平均）

① 基本的な生活習慣

番号	質問事項	中野市の小学生		中野市の中学生	
		R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
1	朝食を毎日食べていますか	93.0 (93.7)	94.6 (93.9)	92.8 (91.2)	90.5 (91.2)
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.9 (82.9)	84.0 (81.0)	89.2 (80.7)	76.6 (78.0)
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.7 (91.6)	90.5 (90.5)	95.2 (92.5)	91.4 (91.3)

○「毎日朝食を食べていますか」について、小学校6年生では全国平均より低くなった。中学3年生では年々減少傾向にあったが、今回は前年比を上回り、全国平均を上回った。就寝時間、起床時間を含めた生活リズムは朝食抜きの一因とも考えられる。生活リズムの乱れは心身の健康面に大きな影響を与える。中学校では、「同じくらいの時間に寝て、同じくらいの時間に起きる」割合が増え（特に就寝時間）、良い傾向にある。

○生活習慣病の低年齢化が懸念される中、健康の保持・増進の3原則『睡眠・食事・適度な運動』について具体的な例を示した指導支援が必要である。

② ICTの利用、情報リテラシー等

番号	質問事項	中野市の小学生		中野市の中学生	
		R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
4	学校の授業以外時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く） <b>30分以上使用</b>	51.2 (44.2)		40.4 (36.4)	
5	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか <b>2時間以上</b>	53.6 (59.2)		61.5 (55.9)	
6	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く） <b>2時間以上</b>	26.1 (33.8)		32.3 (32.5)	
7	携帯電話、スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	70.4 (71.1)		64.0 (72.2)	

- 「平日、1日当たりどのくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っているか」の質問では小は7%、中は4%全国平均を上回った。また、どのくらいテレビゲームをするかについて小中ともに5%前後下回った。小中ともにある程度適切な使い方をしていると考えられる。
- 「平日、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをするか」について、小は全国比を8%弱下回り、中はほぼ同等であった。
- 「携帯電話、スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っているか」について、小は全国比を僅かに下回り、中は大きく（8%超）下回った。「トラブルに巻き込まない、巻き込まれない」という観点から、もう一步踏み込んだ指導が必要であると考えられる。

③ 健康について 自己肯定感、相手意識等

8	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生から教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。	86.0 (82.3)		77.1 (76.7)	
9	自分には、よいところがあると思いますか	86.9 (84.1)	83.5 (83.5)	87.8 (83.3)	78.4 (80.0)
10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	94.8 (89.9)	92.5 (89.8)	91.6 (90.4)	88.5 (87.3)
11	将来の夢や目標を持っていますか	83.2 (82.4)	79.4 (81.5)	67.0 (66.3)	67.3 (66.3)
12	人が困っているときは、進んで助けていますか	94.5 (92.7)	93.6 (91.6)	93.6 (90.1)	90.2 (87.1)
13	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	94.2 (95.7)	97.9 (96.9)	96.6 (96.7)	93.3 (95.5)

○健康に過ごすことの大切さをある程度意識できていると思われる。

○「自分にはよいところがあると思うか」の質問では小中ともに全国比を上回った。また、昨年比も小中ともに上回った。特に中では10%弱高くなっている。母集団が違うので、単純な比較はできないがよい傾向にある。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に対しても昨年比で小中ともに上回った。

○「将来の夢や目標を持っていますか」では小学校で3.4%前年比を上回った。『夢の教室』が自分の将来を考える一助になっていると考えたい。

○「いじめはどんな理由があってもいけないことだとおもいますか」では、小で昨年比4%弱下回り、全国比でも下回った。このあたりが少し心配である。

④ 自己有用感、大人への相談、友人関係等

番号	質問事項	中野市の小学生		中野市の中学生	
		R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
14	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	67.9 (67.1)	68.5 (68.5)	67.7 (67.5)	76.0 (66.4)
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.3 (95.9)	97.6 (95.9)	96.3 (95.2)	94.3 (94.6)
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	84.4 (84.8)	78.7 (85.3)	82.5 (83.8)	80.9 (81.8)
17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	77.2 (75.8)	75.7 (76.5)	76.4 (76.2)	79.7 (67.6)
18	友達関係に満足していますか	94.8 (91.1)	91.2 (90.3)	89.6 (90.1)	89.8 (88.7)
19	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	94.5 (91.7)	93.9 (91.0)	89.2 (89.8)	82.9 (86.8)
20	分からないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	83.0 (80.7)		80.5 (78.6)	
21	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）※2時間以上の場合	13.7 (23.5)	20.0 (25.6)	22.6 (31.7)	25.1 (33.7)
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）※2時間以上の場合	17.4 (21.5)	5.9 (13.3)	39.4 (36.2)	20.0 (18.3)
23	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く） ※26冊以上の本がある割合	58.9 (64.1)	69.9 (69.4)	65.0 (59.7)	56.8 (64.1)
24	新聞を読んでいますか ※週に1回以上は読んでいる割合	30.5 (24.0)	15.2 (12.6)	26.9 (17.0)	13.0 (8.1)
25	地域や社会をよくするために何かしたいと思いますか	82.7 (83.5)	82.1 (76.8)	78.4 (76.1)	71.4 (63.9)

- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」では、**中学校で昨年度比 8.3% 下回った**。問 10「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」では上回っているが、相談になると裏腹な結果となった。
- 「学校へ行くのは楽しいと思いますか」については、小学校、中学校ともに昨年度を上回った。子どもも保護者も多様化する中ではあるが、**子どもたちが行きたくなるような「魅力ある学校づくり」**に尽力していきたい。
- 「友達関係に満足していますか」では小では 94.8%、中では 90%弱が満足、概ね満足と答えている。心配なのは**残りの 5~10%の児童生徒**である。友人関係を築くのが苦手だったり、友人とのトラブルだったりから不適応を起し不登校となる場合もある。コミュニケーション力を高めるためアサーション等を取り入れるなどして人間関係を良好に築けるようにしたい。
- 「地域や社会をよくするために何かしたいと思いますか」では、小においては昨年度比でほぼ横ばいであるが、中学校では 7%上回った。中野市では郷土愛に根ざした『ふるさと教育』を大切にしたいと考えている。中学校ではキャリア学習の一環として 2 年生で職場体験学習を行っている。このような機を捉え、『働く』という経験だけでなく、地域貢献についても考える機会としたい。

④ 家庭での生活、ICT機器の学習への利用

番号	質問事項	中野市の小学生		中野市の中学生	
		R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
26	放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか (複数選択) 最も多いこと 第2位 小 家族と過ごす(中野市、全校共に同じ) 中 家族と過ごす(中野市、全校共に同じ)	テレビや 動画 80% (テレビ や動画) 79%		テレビや 動画 90% (テレビ や動画) 99%	
27	5年生(中学1年~2年)までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか ※週1回以上の場合	77.7 (75.5)		93.6 (89.0)	
28 -1	5年生(中学1年~2年のとき)までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	89.6 (85.5)		82.5 (80.2)	
28 -2	5年生(中学1年~2年のとき)までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(2)分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	95.5 (92.1)		94.6 (93.9)	
28 -3	5年生(中学1年~2年のとき)までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(3)楽しみながら学習を進めることができる	88.7 (86.0)		79.1 (82.4)	

28 -4	5年生（中学1年～2年のとき）までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（4）画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	92.9 (89.8)		88.9 (89.0)	
28 -5	5年生（中学1年～2年のとき）までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（5）自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	79.6 (79.2)		76.8 (77.7)	
28 -6	5年生（中学1年～2年のとき）までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（6）友だちと考えを共有したり比べたりしやすくなる	87.5 (86.1)		76.9 (86.2)	
28 -7	5年生（中学1年～2年のとき）までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（7）友だちと協力しながら学習を進めることができる	86.0 (87.1)		83.1 (85.2)	

○「放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（複数選択）」では小の80%、中の90%がテレビや動画と答えている。全国的に見ても多くの児童生徒が同様の過ごし方をしている。

○「画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる」では小中ともに高い数値を表していた。音声（耳からの情報）だけでなく、画像（視覚教材）も同時に活用することで、どの子にとっても理解しやすい支援になっていると考えられる。

○『分からないことがあった時にすぐに調べることができる』という点でICT機器の便利さを感じている児童生徒が多い。一方で、『自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる』では他の項目に比べ、利便性を感じにくいようである。『学び合いのある授業』を目指す中で、「友だちと考えを共有したり比べたりしやすくなる」「友だちと協力しながら学習を進めることができる」は大切な観点だと思われる。特に『考えの比較・共有』『どうして？なぜ、そう考えた？』の仲間の考えた過程をひも解く活動が学力向上（深い学び）につながると思われる。

#### ⑥ 授業の場面 課題解決等

番号	質問事項	中野市の小学生		中野市の中学生	
		R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
29	5年生（中学1年～2年のとき）までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	64.7 (67.6)		73.7 (64.8)	
30	5年生（中学1年～2年のとき）までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	86.9 (81.9)		83.9 (80.3)	



31	5年生（中学1年～2年のとき）までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	85.4 (79.6)		82.1 (75.4)	
32	5年生（中学1年～2年のとき）までに受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか	86.9 (84.3)		83.5 (80.9)	
33	学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	90.6 (86.3)		85.9 (86.1)	
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった見直し、次の学習につなげることができていますか	85.4 (80.8)		77.1 (77.9)	
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか	86.8 (83.7)		78.7 (79.0)	
36	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	91.1 (87.9)		86.9 (84.9)	
37	授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	95.7 (91.6)		89.6 (92.3)	

○「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」は、中で約9%全国比を上回っている。国語のみならず、教育活動のあらゆる場面で大切にしていることが窺える。ぜひ継続してほしい。

○「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」は中野市として特に大切にしたい観点である。『やらされている』では身に付かないことも、『自分で考え、自分から取り組む』ことで身に付くことが多い。『学びに向かう姿』は学習効果という点でも大事な観点である。「ワクワクドキドキするような授業」、「学びに引き込まれていくような授業」、「夢中になれるような授業」となるよう教師側の研鑽が必要である。素材研究、教材研究、授業研究会への参加等を通し、授業力を高めてほしい。また、目の前の子どもたちの実態をしっかり把握し学習計画（単元計画）を立ててほしい。

○「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」は小では4%強全国平均を上回り、中ではほぼ同等の数値であった。『話す』も大切だが、『聴く』ことを通して新たな考え方に気付いたり、自分の考えを深めてほしいと思っている（学び合いで大切にしたいこと）。

⑦ 総合的な学習の時間、学級活動、特別な教科 道徳

番号	質問事項	中野市の小学生		中野市の中学生	
		R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	78.4 (81.3)	66.6 (74.8)	85.8 (82.2)	68.2 (72.6)

39	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	89.9 (84.2)	81.9 (77.2)	84.5 (86.3)	84.4 (77.9)
40	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	89.0 (82.5)	77.2 (75.7)	79.8 (80.6)	77.1 (71.6)
41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	92.1 (88.2)	88.8 (83.6)	90.2 (91.7)	89.2 (86.3)

○総合的な学習については、各学校で題材等工夫し実践している。小中学校ともに昨年度との比較では肯定的な回答が大幅に増加した。全国平均との比較では中で上回った。教師側から与えられるテーマもあるが、『課題設定の力』『情報収集能力』『課題解決の力』『発信する力』等、総合的な学習を通してつけるべき力を各教科とも関連させながら工夫していきたい。各教科と違い、教師側も児童生徒にとっても「何を学び取らせる」「何を学び取る」があいまいな面がある。その課題解決に向けて尽力したい。

○「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」では小で8%昨年度を上回った。学級の質の向上のために努力している姿が窺える。同様に「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」においても小では昨年度を12%弱上回った。中では同様の質問に対し、ほぼ横ばいであった。

○道徳の授業では小中学校ともに90%強の児童生徒が「自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した。昨年度との比較で上回っている。道徳の授業だけでなく、学校生活全般、家庭生活及び地域社会での生活を通して、道徳的な価値に気づかせ、道徳的实践力を身につけられるよう努めたい。

⑧ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）

番号	質問事項	中野市の小学生		中野市の中学生	
		R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
42	国語の勉強は好きですか	61.9 (62.0)	64.1 (61.5)	67.0 (64.3)	66.1 (61.4)
43	国語の勉強は大切だと思いますか	95.4 (94.5)	97.8 (94.2)	94.3 (93.9)	95.5 (92.4)
44	国語の授業の内容はよく分かりますか	87.5 (86.3)	86.6 (85.7)	87.2 (82.7)	82.6 (80.0)
45	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.3 (93.2)	96.6 (92.8)	92.6 (90.6)	90.8 (88.5)
46	(小)国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか (中)国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか	80.2 (78.3)		79.5 (78.7)	



47	(小) 国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか (中) 国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか	82.0 (80.0)		82.2 (80.5)	
48	(小) 国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか (中) 国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか	85.4 (83.2)		74.4 (76.7)	
49	(小) 国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか (中) 国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか	75.1 (84.4)	80.0 (82.3)	80.5 (81.0)	

○「好きか」「大切か」「内容はよく分かるか」「将来、社会に出たときに役立つか」の4項目は昨年に引き続いての質問である。(そう思う・どちらかというと思う)の割合は多少の増減はあるものの昨年度、全国比と大きな違いはない。

○46～48(中学は46～49)は昨年度までになかった質問である。小学校では「違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら情報を整理すること」「目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えているか」「目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いているか」「物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目しているか」の4項目について質問している。49の質問(物語を読むこと)では前年比を5%弱、全国比を9%強下回った。「登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目する」ことは簡単なことではないが、日常生活における相手意識やコミュニケーションにもつながると思われる項目である。意識させることで徐々に身につけてくると思われる。

○中学校では「国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解しているか」「目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えているか」「自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いているか」「説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈しているか」についての質問である。どの項目においても全国比とほぼ同様の数値であるが、「表現の効果を考えて文章を書いていますか」では他の項目より低い値となっている。『書く』という活動に多少の抵抗があるのか、『表現の効果を考える』ことに困難さを感じているのかは何とも言えないが、以前に比べ、書くことに抵抗を感じる児童生徒は多いと思われる。

⑨ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等算数（数学）

番号	質問事項	中野市の小学生		中野市の中学生	
		R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
50	算数(数学)の勉強は好きですか	65.9 (61.0)	61.2 (61.4)	62.6 (67.2)	59.7 (56.7)
51	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	93.6 (94.6)	96.3 (94.2)	89.9 (87.2)	88.7 (85.0)
52	算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	85.9 (82.1)	82.1 (81.2)	77.1 (75.7)	74.9 (73.3)
53	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.1 (94.1)	96.6 (93.3)	80.5 (78.5)	78.7 (75.8)
54	算数(数学)の授業で学習したことを、普段の学習の中で活用できないか考えますか	84.5 (77.9)		58.6 (57.2)	
55	算数(数学)の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	88.7 (83.3)		78.8 (78.1)	
56	算数(数学)の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	70.4 (63.6)		53.9 (47.0)	
57	算数(数学)の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか	92.4 (84.6)		77.4 (77.0)	

○算数（数学）について、「好きか、内容はよく分かるか」の質問について（そう思う・どちらかというと思う）の割合が前年比で小中ともに上回っている。質問 53「**将来、社会に出たときに役に立つと思いますか**」では例年のことであるが小と中の差が大きい。昨年度より縮まったとはいえ、15%弱の開きがある。小は95%強が役に立つと考えているが中では80.5%に留まっている。難易度が増し、単元によっては「生きていくうえで、この学習が必要になるのか？」と考えたり、理解が困難になり、諦めてしまったりしている生徒がいることも予想される。  
解けたら終わりではなく、深く追究していく探究的な学びを目指していきたい。

○54～57の質問は昨年度までになかった。この4項目、小中ともに全国比を上回っている。特に、「算数（数学）の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか」では小中ともに7%弱数値が高い。答えが出たから終わりではなく、他の導き方はないか（ミスが少なく、時間がかからない解き方等）まで考えられるのは、より深い学び、探究的な学びにつながっている。この良さはぜひとも伸ばしてほしい。

⑩ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科・英語）

番号	質問事項	中野市の小学生		中野市の中学生	
		R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
58	理科の勉強は好きですか	84.1 (85.6)		73.7 (68.3)	
59	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったたり問題を見いだしたりすることがありますか	83.8 (83.2)		76.8 (73.7)	
60	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	84.1 (85.6)		76.1 (71.5)	

61	(小) 英語の勉強は好きですか (中) 1.2年のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	75.7 (69.3)	64.6 (69.3)	83.5 (83.3)	80.0 (78.2)
62	(小) 英語の勉強は大切だと思いますか (中) 1.2年のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	94.8 (92.1)	94.3 (91.3)	85.9 (85.6)	79.0 (80.3)
63	(小) 英語の授業の内容はよく分かりますか (中) 1.2年のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えやきもちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	82.6 (78.3)		67.7 (68.8)	63.2 (63.8)
64	(中) 1.2年のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか			82.5 (82.4)	77.5 (78.7)
65	(中) 1.2年のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか			79.4 (85.7)	83.2 (82.8)

○理科に関して小学校ではすべての項目(3つ)で全国比とほぼ同様のパーセント値となっている。中学校では「理科の勉強は好きですか」の質問に対し、「そう思う・どちらかというと思う」のパーセント値が5%超、他の項目(2つ)も3%~4%超全国比を上回った。

○英語に関しては小学校において全3項目(好きか、大切か、よく分かるか)で全国比を上回った。概ね楽しく学習している児童が多いと思われる。中学校では聞いて(概要や要点をとらえる活動が行われていたか、読んで概要や要点をとらえる活動行われていたか、原稿の準備なしに(即興で)自分の考えや気持ちを英語で伝え合う活動が行われていたか、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたか)の4項目は昨年よりパーセント値が高くなり、全国比も上回っていた。ただし、「自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたか」では昨を下回り、全国比でも6%超下回った。昨年度との母集団が違うので単純比較はできないが聞く・読む・話すについては授業改善の成果が見られるが、『書く活動』については一考を要すると思われる。

⑪ 今回の全国学調に関わること「国語・算数(数学)」

番号	質問事項	中野市の小学生		中野市の中学生	
		R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※すべての書く問題で最後まで問題を解こうと努力した割合	79.9 (79.1)	79.1 (80.7)	65.1 (72.0)	71.4 (74.3)
国2	解答時間は十分でしたか(国語) ※ちょうどよかった及び時間が余ったと答えた割合	69.3 (68.4)	66.8 (64.1)	84.4 (74.5)	81.9 (75.3)

第1	(小) 今回の算数の問題では言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか (中) 今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※すべての書く問題で最後まで問題を解こうと努力した割合	82.2 (78.7)	76.9 (80.3)	39.1 (50.0)	51.2 (57.1)
第2	解答時間は十分でしたか(算数・数学) ※ちょうどよかった及び時間が余ったと答えた割合	85.5 (84.2)	92.6 (84.5)	84.4 (74.7)	79.2 (75.0)

- 「今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」の質問に対し、中学校においては「最後まで問題を解こうと努力する生徒のパーセント」が全国と比較し低かった。同様に、中学校では数学においても「回答を言葉や数、式を使って説明する問題をどのように解答したか」の質問に「最後まで問題を解こうと努力する生徒のパーセント」が全国と比較し著しく低かった(前年比でも大きく低下)。一方、「解答時間は十分でしたか」の質問に対し、国語においても数学においてもちょうどよかった及び時間が余ったと答えた割合が全国比で10%近く高かった。このことと上記(最後まで問題を解こうと努力するパーセントが低い)は相反している。「簡単にはあきらめない」「最後まであきらめずにやり遂げようとする」という心情はとても大切である。予測不可能なこれからの時代を生き抜くためには『乗り超える力』が重要だと言われている。心情的な面(情意的な面)を高めるには知的な学力を高めることが不可欠であり、知的な学力を高めるには情意的な学力を高めることが不可欠であると考えている。

### 課題ならびに改善策

- 教科に関する調査結果では、小学校の国語は全体的には全国平均と比べると低かった。領域別に見ると「言葉の特徴や使い方に関する事項」が低く、「漢字を文の中で正しく使う」では、無回答も多く課題があると考えられる。漢字の学習では、読み方や字形を整えて繰り返し練習することにとどまらず、日常生活の中で活用できるようにしていくことが大事である。また、学習指導要領の内容から見ると、小学校の「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」が全国平均より下回っている。
- 小学校の算数は、どの領域も全国平均よりやや低い。領域別に見ると「図形」がやや良い。「データの活用」はやや差がある。複数のデータの分析を二つの観点から分類整理する良さを理解する指導が必要になる。
- ★今、『子どもたちが考える授業』が求められている。「聴く」ことから始まる学び合いによる授業改善に努めながら、学力の定着につなげていきたい。

本市では、中学校区ごとに小中学校が連携して「教育力向上」プランを推進している。個の学びを大事にしながら、仲間や先生とつながるため、「学び合い」による授業改善への取組に力を入れている。今後も、これまでの授業改善の成果と課題をまとめるとともに、この全国学力・学習状況調査結果を今後の指導に具体的に生かしていきたい。

そのような中で、中野市としてどのように学習を進め、子どもたちに力をつけていくか

考えていきたい。

- 小の国語**では『思考力・判断力・表現力等』の「話すこと・聞くこと」において全国比を大きく下回っている状況がある（選択式）。例年課題となっていた記述式の問題では全国比を多少下回ったもののほぼ差がない。「書くこと」に抵抗が減っているとも考えられる。

全国比との差が特に大きい問題は【**思考力・判断力・表現力等**】に関わる問題である。

《目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する》《資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるよう表現を工夫する》《目的意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討する》という3点で課題が残った。国語の授業だけでなく、あらゆる教育活動の中で、伝え合う内容を検討する、資料の活用、集めた材料の分類、関係づけ等を意識して行い、話すこと、聞くことを大事にしたい。

- 中の国語**では15問中14問で全国比を下回った。小と同様『思考力・判断力・表現力等』の「話すこと・聞くこと」において全国比を大きく下回っている状況がある（短答式・記述式）。特に、記述式では大きな差があり、書くことへの課題とともに、出題の内容を読み、出題者がどのようなことを、どのように答えさせようとしているかを理解すること自体が困難な場合も考えられる。

《資料を用いて、自分の考えを分かりやすく伝わるよう話す》《他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめる》《目的に応じて必要な情報に着目して要約する》という3点に特に課題が残っている。記述式の問題では正答率が30%前後である。このような学習経験が不足しているということも考えられる。『学びの共同体』の授業で大切にしている『**ジャンプの課題**』の「問題が易しすぎる」というご指摘を受けることが多い。『ジャンプ課題』についてこれからも考えていく必要がある。

- 算数**では学習指導要録の領域【**数と計算**】でのつまずきが課題である。記述式（思考力・判断力・表現力）では全国比例年ほどの差はない。ただし、中の国語同様、算数の力だけでなく、他の教科においても国語の力が影響することも多い。『知識・技能』も大事であるが、これからは「思考力・判断力・表現力」がより大切であるとも言われている。学び合いのある授業を通して自ら考え、粘り強く取り組み、「できた」「分かった」だけでなく、「そうなんだ」「なるほど」という経験を多く積ませたい。また、「主体的に学習に取り組む態度」は最も大事にしたい姿（夢中になって探究する）である。そのため、日々の授業が最も大切になってくる。教員の教材研究や素材研究に力を入れていく必要がある。

【**数と計算**】「 $350 \times 2 = 700$ であることを基に、 $350 \times 16$ のせきの求め方と答えを書く」（短答式）の正答率は47.1%（全国56.9%）であった。また、【**データの活用**】「示された桜の開花日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く」（短答式）では正答率が39.6%（全国49.3%）であった。『○○であることを基に・・・ ○○の求め方を基に・・・』の問題でつまずく児童が多かった。活用する力、応用していく力をつけていく必要がある。

一方、【**数と計算**】「除数が $1/10$ になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ」（知識・技能 選択式）では**正答率73.7%**（全国69.1%）、同様に「 $540 \div 0.6$ を計算する」（知識・技能 短答式）では**正答率74.3%**（全国70.1%）であった。また、

【**図形**】「作成途中の直方体の見取り図について、辺として正しいものを選ぶ」（知識・技能 選択式）では**正答率87.3%**（全国85.5%）、【**データの活用**】「円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く」（知識・技能 短答式）

では正答率 **84.6%** (全国 80.8%) であった。全国比を上回る問題もあり、日々の努力が窺える。

- 数学**ではすべての問題(16問)で県・全国を下回った。**【数と式】**では「 $n$ を整数とするとき、連続する二つの偶数を、それぞれ $n$ を用いた式で表す」という問題(短答式)では正答率が **22.4%**であった(全国 34.8%)。また、「正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□にはいる整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する」(記述式)では正答率が **25.1%**(全国 35.9%)であった。**【図形】**では「点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する」(記述式)の正答率が **12.7%**(全国 25.8%)であった。**【数と式】**での「 $n$ を整数とする時」「正三角形の各頂点に○、各辺に□をかいた図」にしても、**【図形】**での「点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくる」にしても、単なる計算問題のような具体的なものではなく抽象的な問題であると思われる。そのような問題に対応できる生徒が増えることで中間層を上位層へ引き上げられるのではないかと考えられる。

学び合いのある授業を通し、『共有の学び』を大切にしつつ、より難易度の高い『ジャンプ課題』についてこれからも考えていく必要がある。

- 「聴(聞)くこと」「発信すること(話すこと)」を大切にしたい学び合いを大切にしたい。「分からないが言える」「聞かれたらどこが分からないのか一緒に考える」「聞かれたら誠意を持って教える」・・・“子どもが子どもを支える授業”を目指すとともに、“仲間の前で自分の考えたことや疑問等を聞き手が分かるよう発表する場面”を取り入れるなどして発信力(発表する力)も高めていきたい。
- (2) 生活と関わらせた学習を大事にしていく。
- ・質問紙の「国語、算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」では大多数の児童生徒が役に立つと思っている。好き嫌い、得意不得意にかかわらず、将来に役立つと考えている。必要感があると感じている真面目な子どもたちであるので教科学習と生活を関わる等工夫した学習をすすめていく。
  - ・教科の授業でつける力と日々の学校生活全体でつけていく力がある。特に、読む、書く、聞く等の言語活動を通して、資料、話の組み立てなどを工夫して発言や発表できる指導の工夫が必要である。
- (3) 中野市はふるさと学習を大切にしている。学力は知的なものばかりではない。ふるさとを思い大切に作る心、自分を、そして家族、友人、地域の人等、周囲の人を大切にしていく心も『学力』である。相手意識を持てたり、すぐにあきらめたりせず粘り強く最後までやり遂げようとする心も大切にしたい。そのような心の学力(情意的学力)を高めるにはやはり知的学力を高めることが必要不可欠である。



今年度、全国学調では国語、算数（数学）の学習状況調査が行われたが、点数に表れない『人として周囲とどうかかわってどのように生きるか』『地域の中の一人（地域貢献）としての生き方』についても全教育活動を通して成長を促したい。

『学び合い』（基本4グループでの学習）により、一斉授業で課題となった「授業中の居眠り」、「教室を飛び出す」等、目に見える【**学びからの逃避**】は圧倒的に少なくなった。また、授業中の子ども同士のコミュニケーションも増え、**相手意識が高まった**という報告も受けている。

外部講師の先生からは【1人で追究はできるが探究はできない】というご指導をいただいた。教師と子どもたちがつながる、子ども同士がつながる授業の中で『個別最適な学び』『探究的な学び』がより学習が深まるよう力を尽くしたい。

まだまだ課題は多いが、『誰一人置き去りにしない』『適切に自立を促す』『自己肯定感を高める』を大切にしながら学力向上に努めていきたい。